皆さん、おはようございます。市議会議長の奴間健司です。

平成２５年度古賀市消防団入退団式にあたり、議会を代表してごあいさつ申し上げます。この場には、議会から西尾副議長ならびに総務委員会の各議員が参加しております。

まずもって、今回退任されまました、ひ水前副団長、足立前本部長そして、石津前分団長はじめ各分団長におかれましては、古賀市消防団の先頭に立って火災や災害への対応、予防啓発活動に取り組んでいただきました。大変な役目であり、ご本人はもちろん、ご家族の皆様にも多大なご負担をおかけしたことと思います。議会を代表して、心より感謝申し上げます。

また、新たに着任されました、城野副団長、北村本部長、そして各分団長におかれましては、ただいまそれぞれ辞令が交付されました。市民の生命、財産を守るために、大変ご苦労をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

東日本大震災から２年１か月が経過しようとしています。その後も福岡都市圏直下を走る警固断層でのマグニチュード７・２の地震、また南海トラフでのマグニチュード９クラスの巨大地震が発生した場合の被害試算などが発表されています。東日本大震災の日が大きく上回る内容になっています。３・１１の教訓を忘れることなく、常日頃からの防災の備えをしっかり取り組む必要があると思います。

古賀団地や花鶴３丁目では、県のモデル事業として多くの住民の参加のもと避難訓練が実施されました。

さる３月２６日の議会で、平成２５年度予算を議決しました。その中で防災の取り組みとして、市内５００カ所に海抜表示板を設置すること、自主防災組織の防災備品購入補助を行うこと、古賀西校区で避難訓練を行ったり、釜石の奇跡といわれる防災教育を指導した片田先生を講師とするフォーラムを開催することなどが盛り込まれました。

｢安全で安心して暮らせるまちづくり｣に向けた取り組みが今年度も大きな課題です。

地域における防火・防災の要が消防団です。昨年熊本市の視察をしましたが、集中豪雨の時に身近な消防団の方々が真剣に呼びかけ、住民が早期避難し、助かったという経験を学んできました。

青柳団長を中心に、消防団の皆さんには引き続き市民の安全・安心のためにご尽力いただきますよう、私からもお願いいたします。

議会としても消防団活動を支援し、防火・防災の充実のため、全力を尽くすことをお約束します。

結びに、本日お集まりの皆様の、ご健康とご活躍を祈念し、議会を代表しての挨拶とします。終わります。